



2017. 5. 10

仁保であそぼう

4/27(木)年長さんが仁保の帰郷庵で楽しい活動をしました。野田学園幼稚園は、今年から“すろーふーどらいふ山口ネット・和 代表”白木美和さんに、食物アドバイザーになっていただきました。今回、白木さんの紹介で味噌づくりに挑戦することになりました。それだけではなくマック池田さんの片足ダンス、園長先生の里山散策の三つの活動をローテーションで行いました。その様子を紹介したいと思います。

味噌づくり



食物アドバイザーの白木さんに味噌づくりを学びました。

いろいろ
囲炉裏のある部屋で、味噌作りをしました。

見慣れない囲炉裏に、子どもたちは興味津々でした。「なんでここに魚がおるん？」と、不思議そうでした。自在鉤のことですが、その場では私たちもわからなかったのです。帰って調べてみました。魚は水に通じるということで、火事を避けるお守りの意味があるそうです。

囲炉裏の周りに集まって、味噌作りの話を聞きました。部屋に入

った時から、「いい匂いがする！」と、子どもたち。それは味噌種の匂いでした。味噌の材料である、大豆・米麴・塩を実際に目にすることもでき、味噌により興味を持てたようです。

子どもたちが行ったのは、事前に作ってあった味噌種を手で丸め“美味しくな一れ！”と、樽におもいっきり投げ込むことでした。味噌種を手にし、「ぷにゅぷにゅする」、「お餅みたい」と感触を楽しみながら、いい匂いの正体も確認できたようでした。子どもたちが投げ込んだ味噌種は、今から発酵し、秋には美味しい味噌が出来上がる予定です。年長さんは楽しみが一つ増えました。

片足ダンス

帰郷庵前の広場で、マック池田さんに片足ダンスを教してもらいました。片足ダンスは音楽に合わせて、片足を浮かせて体を自由に動かしながら体幹を鍛えます。ダンスの前には、深呼吸をし、「さあやるぞ！」とみんなで大きな声を出し、気合いを入れてはじめ、終わってからは「よくやった！」と褒めあい、大きく笑うことがルーティーン

ンだそうです。“おもちゃのちゃ
ちゃちゃ”や、“かもめの水兵さ
ん”の歌に合わせて踊りました。
これが簡単そうに見えて、結構難
しいものでした。その場に軸足を
地面につけたままバランスをとる
ことは難しく、ケンケンをする子
や、すぐに両足をついてしまう子
が多くいました。その場に立ち続
けて踊ることも大切とされている
片足ダンスですが、子どもたちな
がらに、楽しく取り組む姿が見ら
れました。また、幼稚園でもやっ
てみたいと思います。



里山散策

今回、里山散策を取り入れたわけは、
意外に野山を歩くことが少ない子ども
たちにその体験をさせたいという願い
から活動を組んでみました。帰郷庵の
まわりをぐるりと歩く約20分間のコー
スです。いろいろと春の代表的な草花
が咲いていました。それをいくつか子
どもたちへ紹介しました。意外だった
のは、あまり興味がないのかなと思っ
ていたのですが、予想以上に関心が高いことでした。「この花はなんて言うの？」と何度も質問をされました。少しだけ草花を紹介します。



[ハコベ]

春の七草で有名なハコベですが、花は小さいけれどよく見るときれいです。花の花弁は何枚あるか？子どもたちに聞くと10枚と答えてくれます。しかし、本当は5枚なのです。1枚の花弁が大きく切れ込み2枚に見えるのです。学名はステラリアメディアといい、ステラリアは星という意味です。確かに花をよく見ると星が光っているように見えます。



[キランソウ]

キランソウは、シソ科です。しかし、シソ科にしては地面を這っています。見た目かなと思いましたが、別名を「ジゴクノカマノフタ」と言います。この名の由来は、見た目ではなかったのです。キランソウは薬になり、病気を治す力があるのです。地獄の釜に蓋をして、病人を地獄から追い返すからこの名がついたそうです。キランソウを一旦乾かし、煎じて飲むとよいそうです。咳を止める、タンを取る、



熱を下げる、下痢を止める、揉み潰して虫刺されに塗ると治るなど、役に立っているのだと思いました。

豆茶



休憩時間に豆茶をいただきました。子どもたちは「いつものお茶より甘い」と言っていました。カワラケツメイ(マメ科の野草)と煎り大豆から作られたお茶でした。子どもながらに、幼稚園でいつも飲むお茶とは違うことを感じていました。すごく匂っている姿が見られました。初めてだった園児も多かったようです。癒やされるかおりでした。こ

のお茶も大豆からできていることを味で覚えておいてほしいという願いからです。

幼稚園駐車場について

昨年度まで乳児施設建設のため、送迎は学園駐車場を使用していました。皆さんには、大変ご迷惑をお掛けしました。ご協力、本当に有り難うございました。

4月から乳児施設前の駐車場が使えるようになり、送迎をされる方にとっては嬉しいことではないかと思えます。しかし、皆さんに気を付けていただきたいことが二つあります。

一つ目は、駐車場から国道へ抜けるときに十分注意して歩道を渡っていただきたいのです。歩道を通る自転車や人は塀に遮られ、見通しがあまりよくありません。一旦停止はもちろんです、その角でじんわりと車の先を出し、車が歩道を横切るという意思表示をしないとタイミングが悪ければ接触する可能性があるのです。今回は、塀の角に切れ込みを



入れ見やすい工夫もできていますが、それでも十分に気を付けていただきたいのです。



二つ目は、幼稚園周辺の皆さんへの配慮です。今、皆さんには学園側から入り、国道側へ抜けるようお願いしています。これは幼稚園が便宜的に決めた約束です。実は、この細い道はずいぶん前からありました。ご近所の皆さんは、生活のための道として使ってこられました。軒数が少ないこともあり、一方通行という約束はありませんでした。以前、保護者の方と地域の方が狭い道で揉め合う出来事があったそうです。地域の皆さんへは、これまでと同じように使っていただきたいと思っていますので、譲り合っていただくようお願いします。

日々の生活は、あわただしく分刻みの中で動いていると思います。しかし、車での送迎は十分な安全確認をしていただき、事故のないようにお願いします。

国道側のフェンスがきれいになったよ

乳児施設の国道側のフェンスがきれいになりました。一部ガラス面になり、かわいい動物が6匹描かれています。これが完成するまでに、ずいぶん話し合いがありました。しかし、結果的には、それだけ話し合ったことがよかったと思っています。ここに描かれた動物たちには、ちょっとした秘密があります。よく見ていくとだんだん分かってくると思います。時間があるときに、じっくりと見てほしいと思います。



土管が生まれ変わった

子育て支援センター「たまごのおうち」が完成し、4/29(土)備品などを運び込む作業がありました。幼稚園の先生方とパパ会の皆さんのご協力がありました。8名のパパ会の皆さん、本当に有り難うございました。重いものもたくさんありましたが、大活躍で作業がスムーズに進みました。

また、このときに「アンパンマン公園」(旧ロケット公園)の土管をきれいにしました。クリーム色のペンキを塗ったのです。二人のお父さんの作業でとてもきれいになりました。そして、この土管に絵が入りました。光貞先生がげんちゃんにこちゃん



の楽しそうな絵を描いてくれました。やさしい雰囲気が溢れる「アンパンマン公園」になりました。反対側にも内側にも、遊び心のある絵が描いてあります。見てくださいね。